

はとやま



No. **140**
2018.5.1発行

3月定例会報告

多世代交流の拠点となるか	
一般会計予算52億9300万円	2
私たちは賛成・反対しました	6
議員定数13人→12人へ	8
町政を問う!一般質問10議員が質問	8

多世代交流の拠点となるか

一般会計予算52億9300万円



耐震補強及び改修工事をする多世代活動交流センター

第1回定例会

平成30年第1回定例会が、3月6日から19日までの14日間にわたり開催されました。提出議案は、条例の制定に関するもの20件、埼玉県市町村総合事務組合に関するもの2件、指定管理者の指定に関するもの1件、平成29年度一般会計及び特別会計等補正予算の議定に関するもの8件、平成30年度一般会計及び特別会計等予算の議定に関するもの8件、その他3件の42議案で、全議案とも可決されました。議員発議が2件提出され、可決されました。

平成30年度 一般会計予算

歳入

問 30年度の予算編成で一般財源枠配分方式とは。
答 各課に財源枠を事前に提示し、それに基づいて予算要求をするもの。
問 30年度の町債が、9億円以上と前年度より大幅に増えているが。
答 北部地域活性化事業と、ニュータウンの整備事業が町の最重要事業。北部事業は地元対策費も見込んでいるが、先行して実施している。
問 学校施設環境改善交付金548万円の用途は。
答 今宿小の給食配膳用エレベーターが老朽化で改修。補助率は3分の1。

歳出

問 北部地域活性化推進費の歳出が非常に多く、町債を押し上げている。30年度に実施しなくてもよい事業があるのでは。
答 活性化取組み方針に基づいて事業計画を立て、実施するものであり、活性化委員会等と協議をしながら丁寧に進めていく。
問 町道1号線の整備で安全確保以外に経済的波及効果は見込めるか。
答 延伸した先に子育て支援住宅の計画など、活性化に向けて取り組む。
多世代活動交流センター
問 耐震改修工事で3億6540万円、総額について、なぜ今まで示さなかったのか。議会軽視ではないか。

答 設計額見直し等の検討のなか、額が確定しない部分もあり、説明が遅れたことをお詫びする。
問 工事を来年度に先送りできないのか。
答 すでに1年延期しており、歩道工事については31年度の実施予定だ。

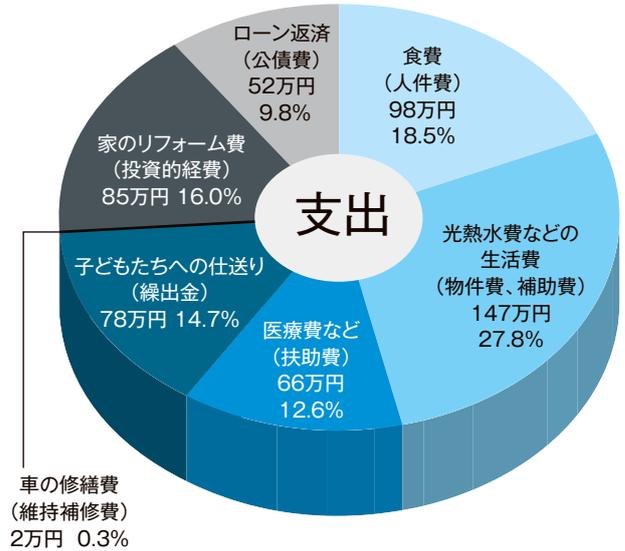
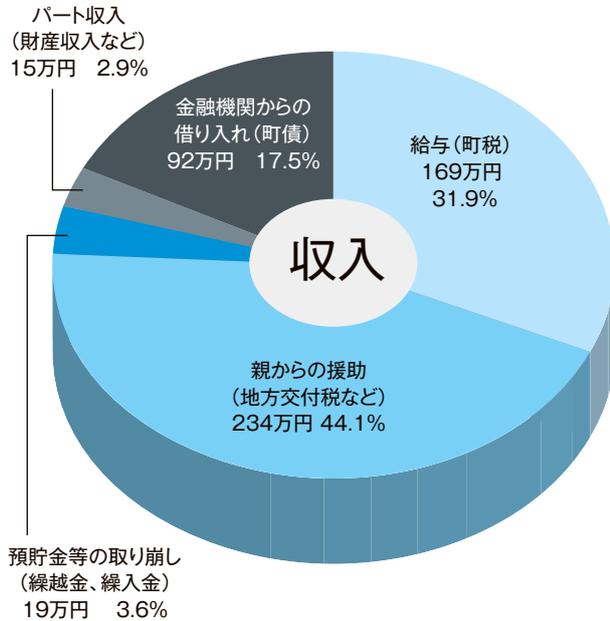
自治協力団体
問 区長等の報酬総額が増えているが。
答 10月に交付金の改正をするので11団体を計上した。

問 現在のNT自治協力団体の立上り状況は。
答 NTの住民の方々が自主的に検討をしている。
上熊井農産物直売所
問 コンセプトが明確でない形で建設を進めても、運営事業者の選定や、継続的な展望が見えない。



もしも町の年間収支が 529万円の家計だったら…

鳩山町の一般会計の全体額を、分かりやすくするため、
1/1000〔1千万円を1万円〕年間529万円の家計簿にしてみました。



答 運営検討委員会の答申では、指定管理者制度が提案されている。持続可能な運営について、活性化委員会や議会にも協議・検討をお願いする。

町営路線バス運行経費
問 運営収入の見込み額より実際の収入が低いと町の負担が危惧されるが。
答 定期券の導入や、バス停の追加により、徐々に向上している。越生駅東口まで延伸すれば、利便性が向上する。

コミュニティ・マルシェ 管理運営委託料
問 事業運営がなかなか軌道に乗らず、管理者も大変だと察する。キッチン整備工事の進捗は。
答 3月完了予定だったが、若干遅れている。

学童保育業務委託料
問 委託料のなかに修繕費は含まれるか。
答 おしやもじ山クラブの屋根修繕工事を含む。

総合福祉センター管理料
問 入浴施設の休止で600万円の減額だが、今後、再開の見通しは。
答 公共施設の管理運営

見直しのなかで検討する。

アライクマ分析調査業務
問 被害が多いと聞くが、取組みについて伺う。
答 捕獲した個体の分析をして、県に報告書を提出している。29年度2月までの捕獲数は173頭。

家庭教育学級補助金廃止
問 PTA活動の活性化のためにも、再計上を。
答 今年度は町Pの連絡協議会からの対応をお願いしている。今後についてもP連と協議していく。

〈反対討論〉

公共事業が多すぎる。特に北部地域事業の繰り延べ等地元と話し合うべき。北部バスの需要も少ない。敬老祝いの廃止は、執行努力が足りず、入浴施設も残すべき。米づくりが持続可能になるような支援をすべき。
(根岸)

多世代活動交流センター整備計画は、町の総合計画等、中長期的な視点で継続的に実施してきている事業とは理解できるが、厳しい財政のなか、少しでも費用軽減を検討して進めていただくことを強くお願いする。執行部が一丸となり、各課の予算執行に期待する。
(石井徹)

町の大変厳しい財政状況のなか、苦勞して予算編成されたことと察する。交付金事業などの公共工事が増え、福祉・教育に負担がかかっている事を懸念する。また、議会に情報開示するのが遅すぎる面が多々あった。今後は町民無視・議会軽視とならぬよう強く要望する。
(大賀)

ないか。教育費の減額は将来の投資を減らすことにつながる。がん検診の有料化、入浴施設の休止いずれも町民サービスの低下だ。
(松浪)

〈賛成討論〉

厳しい財政、住民へ説明を

町長等の給料 減額支給

平成30年度も1年間、町長・副町長・教育長は総額で272万円減給

問 減額の背景は。
答 厳しい財政状況だからである。

問 住民のみなさんの納得を得て、予算を決めるべきではないか。
答 高齢化による費用増大と町税の大幅な落ち込みからである。

問 町長が30%削減のところもあるが。
答 3役で十分相談した 것이다。

敬老祝い金が廃止

88歳と99歳の高齢者への「敬老の意」を表す祝いが全廃になりました。

問 減額を検討したか。
答 後期高齢者は段階的に増える見込みだ。健康寿命の延伸と介護予防に努めたい。

問 財政が厳しいというが、公共事業を少し減らしたらよいのではないか。
答 国からの支給を図り、一般財源を抑える方向である。

総合福祉センターのお風呂が4月から休止

問 町社協への指定が1年間だが。
答 入浴施設も含め、利用形態や管理運営を見直す年度としたい。

問 統合の理由は何か。
答 職員が7人減になること、繁忙期に課内連携を強化できること、住民の相談や手続きが1課で

役場の課等が表のように、4月から統合

役場の課等の統合

旧の課等の名称		新名称
旧の課等の名称		新名称
税務課+出納室	→	税務会計課
町民課+健康福祉課	→	町民健康課
高齢者支援課+健康福祉課	→	長寿福祉課
産業振興課+生活環境課+北部地域活性化推進室	→	産業環境課
教育総務課+生涯学習課	→	教育委員会事務局

問 町民健康課が総合案内になればよいと考えている。
答 主査を廃止し、副主幹を設置したが、給料や仕事の責任は。

問 副主幹とは、主幹(係長)を補佐する役目がある。係長が11人不足していた。主任が昇任すると6号給上がる。
問 女性の登用が多くなるか。
答 男女を問わず、主任で5年経過する職員が対象である。女性の活躍が期待される。

包括ケアセンターのデイサービス 休日も運営

ただし、5月3日から5日までは休館。

介護保険料が1カ月4100円だったものが、4000円に

問 町の高齢者の状況はどうか。
答 高齢化率は県下1位

施設の貸館を開始

施設の貸館等一覧	時間等	例：平日の金額	
		会議室等	料理実習室
名称			
ふれあいセンター	午後	600円	700円
今宿コミセン	午後	300円	600円
保健センター	1時間	300円	500円
中央公民館	午後	400円	-
図書館	午後	600円	-

問 地域支援事業の充実を望むが、どのように考えているか。
答 前期高齢者は、地域づくりへの参加を希望または参加しても良いと考える人が3分の2もいることが分かった。

問 体操を活用した高齢者の通いの場の創設、ボランティアの養成による生活支援体制の整備などが必要に迫られている。
問 次期の重点事業は。
答 小規模多機能型居宅介護、デイサービス、訪問介護、シヨートステイを組み合わせた施設の整備と民間事業者によるリハビリ型デイサービスの参入を促進することだ。

医療と介護の連携の整備条例が5本

この法律の主な内容
利用料3割負担の導入。介護医療院等の創設。障がい者と高齢者を同一の施設になどの改正。



平成29年度補正予算 こんな審議をしました

一般会計補正予算

問 町民税法人割で、1850万円も追加した理由は。

答 大幅な増額となった法人が6法人で2057万円、大幅に減額となった法人は1法人で171万円などを補正した。

問 児童手当501万円の減額は。

答 2月までの実績からの減額である。

問 確約的な数字は押さえられないか。

答 出生、転入や現況届、所得の増減などが出せる。

問 町営路線バスの運行



土地収用法で会社の建物と長屋門を撤去し、真っすくな1号線へ

経費の追加225万円は。
答 当初は1460万円見込んだ運賃収入が219万円程度となるので、2回目の補正である。

問 今後の見込みは。

答 町外の方の利用があると考えられる。

問 上熊井直売所の町道用地測量等の予算は、1840万円で、それを552万円も減額とは。

答 対象の面積が少なく、分筆費用などが少なくなったことや入札結果による。

問 泉井の集落センター建替え設計委託料で当初の予算は2000万円だが、1410万円の減額とは。

答 入札による差額である。
問 環境保全型農業直接支払い対策で、なぜ面積が減ったか。

答 実質1人でやっている方の健康や、ほかの作付けに手間がかかった。

問 自主防災組織育成事業で10万の予算が8万円も減額とは。

答 訓練を実施したのは大橋地区だけで、その後の見込みがないため。

国民健康保険

問 保険給付費で4352万円の減額は。

答 5月以降の支払いが下回っていること、今後の分も一番高く見込んで減額した。

農業集落排水

問 修繕料57万円の追加は。

答 予算の91万円は、9月に中継ポンプ施設の異常を伝える通報装置の修繕に使ったので、予定の汚泥引き抜きポンプと工アリフトプロアの修繕の分を増額する。

平成30年度 特別会計予算を審議

国民健康保険

問 国保税が前年より8672万円減額だが。

答 被保険者の低所得化が多く、社会保険へ移行する人も多く国保の人数減が影響している。

問 2方式になって納税のバランスが崩れているか。

答 軽減割合を6割4割から7割5割2割と軽減を手厚くしたのでバランスはとれていると考える。

介護保険

問 地域密着型介護サービスが前年比で624万円減額だが。

答 社協のデイサービスを廃止し、利用者は大きな施設へ移動した。

問 地域支援事業で減額があるか。

答 紙おむつの実績や生活支援コーディネーター職員の時間外手当が減額になった。

問 在宅介護支援セン



各地区で実施されている地域健康教室



ター運営業務委託料250万円は。
答 松寿園へ土日や夜間の相談、見回りなどの委託料である。

問 はあとふるパワーアップ体操教室講師報酬90万円は。

答 1回1万円で90回、各地区、各大字でお願いしている。

問 健康長寿の共同研究事業への負担金130万円は。

答 東京都健康長寿医療センター研究所との共同研究事業の負担金である。

水道事業



NT楓ヶ丘2丁目の工事

問 耐震型の水道管の埋設計画と進捗状況は。

答 昨年度から老朽管の更新工事を、楓ヶ丘2丁目を2力所開始。18年間の計画である。



藤野 敏氏

副町長に 藤野 敏氏

富岡昌彦副町長の
辞職に伴い、藤野敏
氏（熊井在住）を選
任することに同意し
ました。



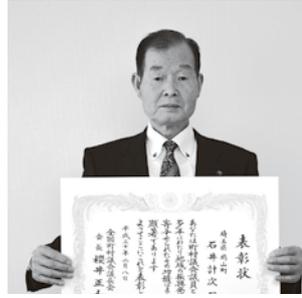
吉岡 光一氏

固定資産評価審査 委員会委員に 吉岡 光一氏

固定資産評価審査
委員会委員の任期満
了に伴い、吉岡光一
氏（奥田在住）を選
任することに同意し
ました。

おめでとーございませう

2月8日、全国町村議
会議長会の定期総会にお
いて、平成29年度表彰が
行われ、町議会議員とし
て15年以上在職の、石井
計次議員が表彰を受けま
した。



1月24日、比企郡町村
議会議長会表彰式で、議
員として10年以上在職し
た小鷹議長、森議員、日
坂議員が表彰を受けまし
た。



左から小鷹議長、森議員、日坂議員

鳩山町議会議員補欠選挙結果

平成30年2月18日に行われた選挙の結果、3人の議
員が当選しました。

- ・野田小百合（松ケ丘）
- ・松浪健一郎（楓ケ丘）
- ・関根 清隆（松ケ丘）

任期は平成31年6月4日までとなります。



「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 議は議長

平成30年第1回定例会 議 案		議 員 氏 名											審議 結果		
		関根 清隆	大賀 広史	石井 徹	日坂 和久	森 利夫	松浪 健一郎	小川 唯一	野田 小百合	石井 計次	小鷹 文夫	根岸 富一郎		中山 明美	小鷹 房義
町 長 提 出	町長等の給料の減額支給に関する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議	原案可決
	鳩山町の組織及び任務に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	組織改正に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	個人情報保護条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	保健センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

平成30年第1回定例会 議案		議員氏名											審議 結果		
		関根 清隆	大賀 広史	石井 徹	日坂 和久	森 利夫	松浪 健一郎	小川 唯一	野田 小百合	石井 計次	小峰 文夫	根岸 富一郎		中山 明美	小鷹 房義
町 長 提 出	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	地域包括ケアセンター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	町立図書館設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	敬老祝金支給条例を廃止する条例	○	●	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○	議	原案可決
	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	総合福祉センターの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	●	○	議	原案可決
	平成29年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度浄化槽設置管理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成30年度一般会計予算	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	平成30年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成30年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成30年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成30年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	平成30年度浄化槽設置管理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成30年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
字の区域の変更(今宿東土地区画整理地内)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意	
副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意	
議員 提出	議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	議会議員定数条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

議員定数 13人 → 12人へ

提出者 日坂 和久
賛成者 石井 計次
賛成者 大賀 広史

議会が自ら行財政改革の一層の促進を目的として、議員定数の削減を行うため、本案を提出する。

提案理由

次期町議会議員一般選挙においては無投票とならないように平成28年4月に「ごつする!? 鳩山町議会・議会活性化特別協議会」を立ち上げ、約2年にわたり協議を続けてきた。

その間、議員が直接地域に出向き、議会に関するアンケートを実施したり、鳩山町議会初の試みである議会報告会、懇談会を開催した。議員定数や議員報酬等について町民の皆様のご意見を伺い、議会で議論してきた。町民のご意見や鳩山町の現在の人口規模、近隣町村の動向などを検討し、現在の13人から1人減とし、12人とするものである。

〈反対討論〉

議会アンケート調査結果にも、11名でよいという町民の声が多くあった。議員も身を切る改革が必要と思ひ、2名減の11名の定数で年間700万、4年間で3000万円の削減を

し、よりよい町民サービスが続けられるようにすべき。(小川)

定数を削減しても行財政改革にはならない。鳩山町議会で行ってきた議会改革の充実を求める。活発な討論のできる議会、政策提言のできる議会を目指し、住民も交えた企画を進めるべき。(根岸)

住民の「町政に取り組んでいきたい」という情熱をもった新たな人材を発掘し、活用する必要がある。現職が強い現状の中では、定数削減は立候補をする意志の低下につながる。定数を現状で確保して議会活性化に取り組みべきである。(関根)

賛成9 反対3で可決

〈お知らせ〉

この条例は来年度実施予定の町議会議員選挙から適用されます。

町政を問う!

一般質問 10議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

小川唯一 議員

1. 平成30年産からの米づくりについて
2. 限界集落と消滅可能性都市

日坂和久 議員

1. 国分寺市との交流について
2. 南比企業跡群について
3. 企業誘致について

石井 徹 議員

1. 多世代活動交流センターの再整備について
2. 太陽光発電施設の取り組みについて

大賀広史 議員

1. 教育行政（自転車保険・学習指導要領改訂・新学校給食センター）
2. 空き家対策
3. 地域公共交通（町営路線バス北部線等）

野田小百合 議員

1. 高齢者の生活支援について
2. 図書館の現状と今後について

森 利夫 議員

1. 町の財政と予算案について
2. 高齢者が輝くまちづくりと、ここ数年の施策について
3. 行政区域について

根岸富一郎 議員

1. 新ごみ処理施設のIH式ストーカ炉について
2. 生業になる農業をめざして
3. コミュニティ・マルシェの運営状況について

石井計次 議員

1. 財源確保策について
2. 総合福祉センターについて
3. 空き家対策について
4. 犯罪被害者支援について

中山明美 議員

1. ヘルプマークの普及促進を
2. いのちを守る教育のために

小峰文夫 議員

1. 全日本プロレス「まちおこしスペシャル・チャリティー 鳩山町大会」について
2. 解決しない赤沼地内の違反建築の今後について
3. 新学校給食センターについて

小川 唯一 議員



消滅可能性都市

脱消滅可能性都市への道は

企業誘致・空き家の活用等

平成30年からの米づくり

生産数量目標の配分廃止と町の動き。

行政による生産数量目標の配分がなくなり、新たな米政策が始まる。

鳩山町地域再生協議会での生産量、耕作面積の平成29年比は。

487トンで6トンの増加。耕作面積は約1・65ヘクタールの増となっている。

過剰生産による米価下落が心配されるが。

どの作物をどれだけ作付けするかを判断していただけ取り組みを促していく。

埼玉県全体では数量的にはどうか。

前年並みの数値となっている。

水田活用直接支払い交付金が前年比154億円増えているが町への影響は。

小麦・大豆等の交付金は例年程度確保できると思われる。

限界集落と消滅可能性都市と予想される時期は。

日本創生会議の発表によると、2040年にその危機に直面する。

人口減将来を見据えた、町設計を本気で検討すべき時期であると思うが。

北部地域活性化基本条例を制定し、取り組みを行っている。

鳩山町人口ビジョンでは、平成29年0歳から4歳の人口が減少とある。このとき、人口減の議論はなされなかったのか。

このころは、バブル景気の時代で大きな問題とはなっていないが、群馬県の上野村はスイスに学び、自立の道を歩んだ。鳩山町も学んでみてはどうか。

有意義なことだとは思いますが、財政状況を考えると難しい状況である。



田園風景 (奥田地内)

企業誘致の現況

企業誘致推進策の計画性がみえない

能動的に戦略を立てた取り組みは無い

企業誘致について

町の財源対策は、「個人町民税の減少を補うため、固定資産税を言

法人町民税の確保が不可欠であり、新たな産業誘導エリアを設定し、企業誘致に努める」とある。

開発方針等は、企業誘致推進プログラムを作成し、対応を図るとしているが、プログラムの内容はどんなものか。

企業誘致推進プログラムは作成していない。

何故、作成しないのか。

企業側から個別相談があれば対応することを主な活動としている。

企業誘致は計画性のない場当たりの政策にみえてしまうのだが。

戦略をたてて能動的に取り組んでいるとは言い難い。先を見据えたブランドデザインを示すことができない。

鳩山ならではの、鳩山の良さを活かした企業とは。

鳩山町の優位性から、物流関係企業の立地

希望条件との整合性が高く、マッチングが図り易い。

隣接自治体では、スマートインター付近で物流拠点整備が進められている。誘致競争に勝算はあるか。

正直、アドバンテージは少ない。

自然環境と調和した企業に積極的に働きかけていくことは検討しないのか。

現時点では、事前相談に来た企業の開発概要から、自然環境との調和について協議している状況だ。外に打って出るような取り組みはしていない。



里山・自然環境と調和できる企業の誘致を

石井 徹議員



多世代活動交流センター

多世代活動交流センターの改修は
都市再構築戦略事業として実施

問 この改修工事に30年度、多額な予算計上があるが、その内容は。

答 国の補助金を活用した都市再構築戦略事業として、地域包括ケアセンター他と併せ、5年前から計画していた事業であり、耐震補強をはじめとした整備である。しかし、活用するためには消防法やバリアフリー法に適合した施設にしなければならぬ。その上で、現在も利用しているシルバー人材センターやつどいの広場、はばたき作業所の事業を今後も維持・継続するために必要な改修工事である。

問 費用の縮減は考えられるか。

答 今後、進める中でできる限りの縮減を考えてゆく。

太陽光発電

(再生可能エネルギーが世界的規模で進む中で)

問 設置等による税収は。

答 固定資産税や償却資産税での税収がある。



営農型太陽光発電施設

問 町が建設した旧下水道処理場の売電収入は。

答 月約60万円、年間では約750万円の売電収入がある。

問 農地等の活用で収入源としての提案はどうか。

答 相談会等で考えた。

問 更なる歳入確保に、町有地の山林、土地利用転換構想箇所を活用したメガソーラーの建設は。

答 このエリアについては、第6次総合計画の策定の中で住民参加の検討で位置付けてゆく。

問 町民の安全・安心が最優先されるべき設置要綱が検討されているが。

答 本年4月から施行を考えている。

大賀 広史議員



教育行政

問 埼玉県で自転車保険の加入が義務化された。1年前も提案したが、児童・生徒の加入状況の把握を強く求める。

答 今年度は小・中学校でPTAを通じて周知を行っていただいた。今後も加入促進に努める。

問 学校給食センターを将来、遊休施設にしたいためにも、定員割れが懸念されている県立鳩山高校へ配食を検討しては。

答 ユニークな提案だと思いが、町側や高校側、県側との調整や課題がたくさんある。

問 コミュニティ・マルシエ内の移住推進センターが開店休業のようだが、空き家バンクの物件登録は現在何件あるか。

答 物件相談はあるのだが、家財の処分や、宅建業法等の課題があり、まだ現在、物件登録には至っていない状況だ。

問 役場前の空き家は特定空き家ではないのか。

答 空家等対策協議会

で、個別の事業についても協議していく予定だ。

地域公共交通

問 再編実施を延期したのなら、北部線バスも越生駅開通まで1年延期すればよいではないか。

答 地元との約束もあるし、一度休止してしまうと再開が難しい。

問 上熊井発着場は、何の整備もせずに続けていくのか。せめて、駐輪場を設置するなど工夫を。

答 1年後には原状回復してお返す予定だ。

問 会議も開かず、町民軽視で進めている。町民参加の分科会を立ち上げ、意見を聞くべき。

答 地域公共交通会議は分科会の設置を認めている。提案については、次回の会議でお諮りする。

埼玉県では
自転車保険への加入が
義務になります!

9521円

加入していますか?
自転車保険

高齢者支援

高齢者のごみ出し支援制度を

まずはニーズを把握することから



野田小百合 議員

問 高齢者のごみ出しの大変さを把握しているか。

答 アンケートを実施したが、ごみ出しの項目はなかった。今後、項目を入れて状況を把握する。

問 他の自治体における支援状況はどうか。

答 2015年現在、全国で23%の自治体が収集支援制度を運用。近隣では坂戸市、鶴ヶ島市で一部実施。他に川越市、ふじみ野市、富士見市、所沢市など。

問 鳩山町独自の支援モデルを住民と一緒に検討できないか。

答 プライバシー侵害の懸念などもあり、町による直接支援型を基に検討していくことが、より現実的と考える。

図書館の現状と今後

問 「図書館の自由に関する宣言」を館内ホームページに掲示・掲載しないか。

答 図書館活動の最も基本的な理念。掲示し、目につくよう検討する。

問 近隣自治体の指定

管理者制度導入状況はいかがか。

答 鶴ヶ島市と毛呂山町で導入。部分委託は日高市と東松山市。

問 指定管理者制度導入のメリットとデメリットは何か。

答 メリットはサービスの向上と経費の削減。デメリットは業者によってサービスの質が異なること。弾力的運営ができにくくなる可能性があること。

問 住民と一緒に考えられないか。

答 特に投げかけずに決定する。図書館協議会に諮問する。



鶴ヶ島中央図書館玄関に掲示されている「宣言」

町財政と予算

多世代活動交流センターの資金内訳

工事費3億7千万円、全額町の単独費用



森 利夫 議員

問 多世代活動交流センター改修工事費の資金内訳は。

答 工事費用は約3億7200万円で、町の借入金として3億2600万円を借り入れ、残り4600万円を本年度の一般財源で賄う。

問 3億7000万円近い改修工事、町単独の費用で施工するなんてどうしてなのか。

答 施設の用途を複合施設に変更する必要があり、工事費が膨らんだ。

問 工事の設計業務委託料は、平成28年度決算書にある。工事内容は、この時と変わったのか。

答 変わっていない。

問 この設計業務で積算した工事費を今年度計上した。1年以上の時間があつた。借入金を増やさず行う方法を検討したか。

答 既に整備した補助金等があり選択技はない。

問 デイサービスの中止、入浴サービスの休止等あまりにも急ぎすぎないか。

答 福祉センターの老

朽化や高齢化施策の転換等を余儀なくされている。

問 敬老会もやめ、敬老祝い金も廃止。高齢者の切り捨てではないか。

答 地域包括ケアシステムを構築して、皆さんの負担を軽減していく。

問 平成25年度に入浴施設給湯設備等改修工事で、1億2000万円支払っている。こんなに早く老朽化による休止か。

答 工事は、ほぼ100%補助金事業であり、入浴給湯設備の更新工事は補助金対象外である。

問 国税をドブに捨てたよつた。国の検証は。

答 年間熱量の報告義務があるが、今年度まで



町が改修工事費の全額を負担する多世代活動交流センター

根岸富一郎議員



新ごみ焼却施設

回転式ストーカ炉の実績はどうか

導入実績は多くないが、業務遂行状況を見る

問 新ごみ焼却施設建設の事業者が、(株)H-I環境エンジニアリングに決まり、燃焼方式は、回転式ストーカ炉とのことだった。

形が説明と大きく違うが、ストーカ炉か。

答 摺動式と基本的な原理が同じである。

問 炉を冷やすのに水を使うが、どれほどか。

答 2炉運転で約60立方メートルの予定だが、今後の実施設計で詰める。

問 実証運転の実績は、どこで、何年か。

答 広島県で23年、東京都で14年と15年が2件、愛知県で22年と導入実績は多くない。

問 稼動が15年を超えると、維持管理費等が多くなり、割高の契約にならないか。

答 今後の業務遂行状況を踏まえ、負担金が過重とならないようにしたい。

問 農業になる農業

答 農業者の年齢についてどのように思うか。

答 70歳以上の方が6割と全国平均より高齢だと驚いている。

軽作業化、作付け面積の縮小になる、重い野菜から葉物野菜へなどが考えられる。後継者や新規就農者の支援が必要。

問 コミュニティ・マルシエのトイレの管理はどこか。

答 コミュニティ・マルシエの建物には、トイレが1カ所、ふくしプラザと兼用になっているので、指定管理者と交替で行っている。専門の掃除業者とも契約している。

問 移住推進センターに常駐者はいるのか。

答 指定管理者が「空き家に関する相談」を業務している。

問 指定管理者が「空き家に関する相談」を業務している。



運搬中のストーカ炉 (パンフレットより)

石井 計次議員



財源策

町有財産の積極的処分を

売却可能なものは考えていく

問 次年度、平成31年度の新たな自主財源策のための、町所有の売却可能な動産、不動産について伺う。

答 町の動産、不動産の処分については、具体的な検討は近年行っていない。

問 町は財産処分可能なものについては、「積極的に処分する考えである」との認識でよろしいか。

答 売却処分なり、利活用は考えている。

問 土地区画整理地内に普通財産として町所有の不動産が2か所あるが、どのような考えか。

答 土地面積365平方メートルの土地がある。今後検討したい。

問 他にも売却可能な不動産は、旧水道施設を含め少なからずある。精査頂きたい。

次に有償にて購入した動産「絵画」について伺う。

答 購入と寄贈は分けてないが、油絵61点ある。

問 総合福祉センター入浴施設の現状と

今後について伺う。

答 老朽化が進み、修繕工事が毎年続いている。現在でも地下の給湯配管から水漏れの状態にあり、入浴の利用を4月から休止する。

問 修繕費用と、財源措置はどのようか。

答 入浴施設の運営経費は年間700万円程度だが、町の財政にとつて無視できない金額。改修費用は3000万円以上見込まれる。

補助金交付は難しく、全額、一般財源か、借入しかない。

問 「休止」「廃止」をも視野にあるのか。



売却可能な町有地の一例 (今宿東土地区画整理地内)



中山 明美 議員

ヘルプマーク

ヘルプマークの目的・意義は

援助が得やすい社会づくりの推進

問 ヘルプマークの目的・意義は。

答 援助や配慮を必要としていることが外見からはわからない方が、周囲の方に配慮が必要であることを知らせ、援助を得やすくなる。また、援助が必要な方が日常的に様々な援助が得られる社会づくりを推進することを目的としている。

問 どのように広報するの。

答 第5期の鳩山町障がい者福祉計画の中で、ヘルプカードの普及啓発事業を位置づけている。目的・意義を含めて町民の皆様にご理解いただけるように、町広報やホームページで掲載する。ポスター・チラシ等の作成・配付、またイベント等において周知徹底を図っていきたくと考えている。

問 かばん等につけられるようなものを作成することは考えているか。

答 どのような形のものか、よいか障害者団体等からのご意見や、社会の動向、また、国・県の

補助金などの状況などを確認しながら検討したいと考えている。

学校での心肺蘇生教育の普及推進を

問 AED講習の実施状況など取り組みは。

答 生徒に対しては、AEDの仕組みや設置場所等についての指導はするものの、実技指導までは至っていない。今後、緊急の事態が発生した場合、救急隊到着の間に、その場に居合わせた教職員や児童・生徒が素早く救命処置ができるように指導体制を整えていく。実際に実習する機会を与えておかななくてはならないと考える。



みんなの理解、協力が大切
鳩山町ヘルプカード

全日本プロレス

町の税金を使わず町おこし

旬の花の美味の会も出店完売

全日本プロレス「まちおこしスペシャル・チャリティー鳩山町大会」について

問 鳩山町が進めているまちおこし事業に、全日本プロレスに協力して頂き、全日本プロレス「まちおこしスペシャル・チャリティー鳩山町大会」を町はどう思っているか。

答 第3回目となった全日本プロレスチャリティー鳩山町大会が大盛況で開催されて、鳩山町の知名度アップになったことは感謝している。また、今回も旬の花の美味の会に出店要請を頂き、町外のお客が多いなかで、鳩豆うどん、唐揚げ、まんじゅう、焼きそば、飲み物など、試合前に殆んど売れて早い時間に完売になった。このように町の予算をかけないで、全日本プロレスが煌々の中で鳩山町をPRして頂き感謝している。

問 解決しない違反建築について

平成27年9月から

3年も続く、解決しない違反建築の一般質問をどう考えているか、今後この違反建築をどう解決するのか。

答 違反建築が設置されている場所は、交通量の多い県道とかがわ坂戸線の沿道である。

当該違反建築の1日も早い是正に向けて質問をされていると認識している。また、本件の是正指導については、川越建築安全センター・東松山駐在と、違反開発に関する事務処理要領に基づき、継続的に指導をしていく。



中央公民館内に作られたリング

一部事務組合議会報告

町の事業を他の市町と共同して行っています。

坂戸地区衛生組合

2月8日、第1回定例会が開催されました。提出された議案は、埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について、埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について、平成29年度一般会計補正予算、平成30年度一般会計予算の4議案でした。いずれも可決されました。

予算総額は歳入歳出2億6550万円で、鳩山町の負担金は2509万円です。
今年度は破砕ポンプ、前処理機器、し尿以外のゴミを運ぶコンベア等の修繕費3130万円が見込まれています。

埼玉西部環境保全組合

2月15日、第1回定例会が開催されました。提出された議案は7件。
平成30年度予算は33億1522万円。前年より12億3066万円、59パーセント増です。
(仮称)鳩山新ごみ焼却施設整備では、設計施

工監理等業務委託料5054万円や、施設建設工事費11億7568万円。
高倉クリーンセンターでは施設管理事業1億9881万円など。設備の定期的な点検・修繕を実施し、平成34年度までの安定稼働をめざします。
川角リサイクルプラザでは、稼働期間延長に伴う周辺対策事業費を1500万円増やし、昨年に続き基幹設備延命化事業3億2023万円の工事を実施します。

(仮称)鳩山新ごみ焼却施設に係る契約

整備・施設事業

「(株)IHI環境エンジニアリンググループ」が落札者となりました。

建設請負契約(平成34年9月末まで)

IHI環境・三井住友建設・伊田テクノス

特定建設工事共同企業体

128億8915万円

運営委託契約(平成50年3月末まで)

株式会社鳩山環境サービス※

62億5485万円

※本事業の運営・保全管理を行うために、平成29年12月27日に設立された特別目的会社(株)IHI環境エンジニアリング、(株)クリーン工房が出資)

西入間広域消防組合

2月14日、第1回定例会が開催されました。提出された主な議案は平成30年度当初予算案で、歳入歳出とも12億5931万4千円で、前年度比で約12%の減額となりました。そのうち、構成する3町の常備消防費については鳩山町2億5891万円です。非常備消防費負担金の鳩山消防団費は2359万円です。鳩山消防団第2分団に消防ポンプ自動車の購入費が計上されました。審議の結果、可決承認されました。

毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合

昨年12月18日に、第2回臨時会が開催されました。
提出議案は、組合と構成3町との公共下水道使用料の徴収事務の事務委託に関する規約変更3件で、原案通り可決されました。

2月19日、第1回定例会が開催されました。管理者からの提出議案は、6議案。慎重審議の結果、全ての議案とも可決されました。

29年度補正予算は、歳入歳出それぞれ7190万円減額し、予算総額15億0463万円。
30年度予算では、歳入歳出総額14億8342万円で、鳩山町の負担額は1億4163万円です。

広域静苑組合

2月20日に第1回定例会が開催されました。議案は条例改正や予算など4議案でした。

平成29年度補正予算では、歳入歳出それぞれ90万円増額し、予算総額8億4939万円とするものです。坂戸市が加入するために、越生斎場建設事業費の補正です。

平成30年度予算は歳入歳出総額17億2504万円と定めるものです。慎重審議の結果、可決

承認されました。

建設工事中の越生斎場は8月完成、10月引き渡し、12月本格稼働の予定です。



建設が進む越生斎場の完成予想図



議会でも視察してきました

議会クイズ

- 正解者の中から抽選で、2人の方に**町の特産品**を差し上げます。
- クイズの正解と当選者の発表は、次号の議会だよりに掲載します。

139号の当選者2名の方
おめでとうございます！
○鳩ヶ丘 大平 孝子様
○大豆戸 藍 順子様

- ★前号の答え
① □ ② イ ③ イ

(応募方法)

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号」を記入してください。

議会に対してのご意見・ご感想などもお聞かせください。

(あて先)

〒350-0392
鳩山町大豆戸184-16
議会事務局クイズ係

(締切)5月28日(月)

(※消印まで有効)

ぜひ奮って応募ください。お待ちしております。

問題1

平成30年度一般会計予算額はいくらでしょうか。

- イ、35億円 □、42億円 ハ、52億円

問題2

次回の議員選挙の定数は何人でしょうか。

- イ、11人 □、12人 ハ、13人

問題3

一般質問した議員は何人でしょうか。

- イ、9人 □、10人 ハ、13人

こんなご意見・ご感想を頂戴いたしました

たくさんのご意見をありがとうございます

傍聴アンケートより

●議会で述べている生の声や意見を外部に広げれば効果があると思ふ。

★議会音声配信は、会議日から原則3日後(土日祝祭日を除く)の夕方までに配信しています。

また、「速報版」も配信しています。
傍聴できなくても大丈夫です。是非お聞きください。

●補選で選ばれた議員に優先的に質問させていただきます。

- 「ご意見・ご感想」
- ★編集委員会「メント

★標準会議規則の定めがあり、一般質問は通告制で、特別な配慮は行っていません。

●住民が疑問を感じている身近な問題の取り上げが少ない。

●月1回程度の議員と住民の交流会の実施を。

★会と住民の距離を身近にするために、議会でも交流会をはじめ様々な企画を考えております。定期的に行えるよう検討してまいります。

3月議会傍聴者数

27人

★多数の傍聴ありがとうございました。

編集後記

「起立多数で原案は可決いたしました」

議長の声が議場に響き、来年の町議会選挙の定数1の削減条例が3月議会で決定しました。

●補欠選挙が終了し、13名の議員で再スタートを切ったばかりですが、2年半前から議会の活性化に向けた取り組みを行い、議会活動の見える化施策として、町民アンケートや議会報告会・懇談会を実施し、かつ、次の選挙を無投票にしない結論として12名の定数となりました。

●この取り組みの成果もあり、3月議会では各議員が積極的に質疑・討論に参加し、今まで以上に議会が活性化していると感じます。

●これからも更に議会を活性化させ、ますます開かれた議会を目指してゆきます。どうか、進化してゆく議会の姿に関心を寄せて頂き、是非、傍聴にもお越しください。

(石井徹)

第140号編集委員

- 委員長 中山 明美
委員 根岸 富一郎
委員 小峰 文夫
委員 石井 計次
委員 大石 史
委員 賀井 史

次回の定例会は5月6日(水)

から開催予定です

●請願・陳情は5月28日17時まで提出してください。

●議会ホームページから音声配信をしています。

●音声配信速報版は翌日(休日を除く)から配信されます。



QRコードを読み込むと、議会のホームページが表示されます



●鳩山町議会ホームページは「鳩山町議会」で検索してください。

平成30年5月1日 発行

(〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸184番地16)